

編集後記

令和2年度の『研究紀要』が完成いたしました。原稿をお寄せくださった方々に感謝申し上げます。

本校は、今年度、『課題解決力』を育成する『中央型探究授業』の実践～課題を発見・探究・発信できる生徒の育成～」をテーマとして、授業改善や教師としての力量向上に努めてまいりました。10月の研究授業月間、12月の校内授業研修会等は、感染症対策のために様々な制約のある中での開催となりましたが、ICTを活用した新しい取組や協議会における活発な議論により、今後の教育活動につながる有意義な内容になったと確信しております。また、SSH事業の一つである協働授業も無事に開催できました。秋田県立大学との高大連携のさらなる発展につなげていきたいところです。

次年度からは「一人一台端末導入」等により、授業だけでなく教育活動全般において大きな変革が予想されます。このような状況下で効果的な教育活動を行うためにも、教員研修のさらなる充実が求められるところです。

最後になりますが、多忙な職場ではありますが、日々の研鑽を重ね、教師としての力量を高め、活気ある教育活動に励んでいく所存です。本紀要が皆様の教育活動の一助になれば幸いです。

研究紀要 第35号

令和3年3月 発行

発行者 秋田県立秋田中央高等学校 研究部